

●ダルムシュタット、マリア福音姉妹会での「受難週の祈り」 ●映画「パッション」

お元気でいらっしゃいますか？

ハンブルクは先週半ばから暖かい日が続いています。

今、スミレ、チューリップ、クロッカス、ドイツ語で「イースターの鐘」と呼ばれているヒヤシンスが美しく花開き、何といても木蓮の花が絶景です。また、こちらにも日本から運ばれた桜の木があちこちに植えられており、なつかしい優しい美しさに心とほまれる今日この頃です。



イースターの鐘



クロッカス

●ダルムシュタット、マリア福音姉妹会での「受難週の祈り」

26日から始まる今年春の活動のために、まず霊的準備の時を持ちたいと思い、4月7日～12日の5日間、ダルムシュタット市のマリア福音姉妹会での「受難週の祈り」に参加しました。そして、今回ほど、主の御苦しみと十字架を深く理解できたことはありませんでした。もうイースターは終わってしまいましたが、今日はそのときのことをご報告させていただきます。

(受難の木曜日) 弟子たちとの最後の晩餐、ゲッセマネでの苦悶の祈り、拘束、散り散りになった弟子たち、さばき、鞭打ちの刑、そして痛みとともにひとり苦しめた夜。

(受難の金曜日) 十字架への道 (Via Dolorosa)、ゴルゴタでの十字架・・・一步一步、主と共にその苦難の道を辿るうちに、主は、これほどまでに私の罪を贖うために苦しめられたのだと思うと、私の心も十字架に向かってどんどん突き刺されてゆきました。十字架上で6時間も苦しめた後、「完了した」と言われて、父なる神にご自身の霊を委ねられた主。全世界の罪が購われた瞬間！アリマタヤのヨセフとニコデモによる主のみからだの埋葬・・・

今回、祈りの参加者たちは、受難週の間沈黙を保ちました。会ったときには目で挨拶をするだけでしたが、「君もそこにいたのか」の賛美歌のごとく、震えるような思いで語ることもできずに共に主の十字架を見つめている、という思いが私達をひとつにしました。

(復活の日曜日) 主が復活された日曜日、私達の喜びが爆発しました！しかもこの日ほど、輝くような主のご臨在を実感したことはありませんでした。

大きな喜びとともに、けれどもこの日、私の心にはいろいろな思いが交差しました。「もし、私達が復活された主、つまり私達のうちに生きておられる主をありありと実感して証してゆくなら、多くの人々は私達のうちにこの生きた主を認識するに違いない。私達がなかなか主を証しできないのは、私達が主の十字架への深い理解が欠けているからではないだろうか、だから私達のうちに働くキリストの復活の力も弱いのではないだろうか・・・」

---

## ●映画「パッション」

そしてその翌日、マリア福音姉妹会からハンブルクに戻る前に、私はダルムシュタット市の映画館で上映されていた「パッション」を観に行ったのです。祈りに参加していた姉妹で、祈りに参加していた人からこう言われました。「両目をしっかりあけて、イエス様があなたの罪のためにどんなに苦しまなければならなかったか観てくるのよ。」

映画「パッション」は、私が受難週で辿った思いをまさしくそのまま映像化したものでした。5日間の思いが、最後に映像となって私のまぶたにしっかり焼き付けられたのです。観た後に気が付きました。私は、イエスが鞭打たれる間中、十字架を背負って歩まれる間中、母マリアのようにイエス様を抱きたいほどだった、と。イエスを愛するとは、人々からさげすまされ、つばきをかけられ、鞭打たれ、血を流されて虫けらのようなになった姿のイエスをかき抱いて愛することであることを、私はこの時初めて理解したのです

そして、復活された主、そのお姿には鞭打ちの傷はもはやありませんでした。それは、私達の傷の完全な癒しの証明です。イエス様は、私達の傷をすべて代わりに負ってくださったのです。（イザヤ53：5）けれども復活したみからだには、十字架の釘と、やりで突き刺された傷の跡が残されています。十字架の釘の跡は、私達への愛のしるし、胸の傷はイエス様が開いてくださった心のしるし。私がいつも歌っている「Via Dolorosa」の歌の意味が、やっと理解できたのです・・・

そして、今も心に大きく残るワンシーンがあります。十字架を背負いきれずに倒れたイエスに母マリアが走り寄ったとき、イエスが彼女に慈愛のまなざしとともに答えたことばです。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」（黙示録21：5）この時、これこそ、主の愛の力であると思ったのです。神であられるのに人となられ、自分を卑しくして十字架にまで従われたのはこのためでした。そして、これこそ、私がお伝えしてゆかなければならぬメッセージであると思いました。この瞬間、私自身も新しくされました。

日本でもこれから「パッション」の映画が上映されると聞きました。是非観に行かれることをお勧めいたします。その際には、両目をしっかり開き、イエス様が、私達の罪のためにどんなに苦まなければならなかったかをご覧ください。そうすれば、皆さんも、悔い改めと、十字架への感謝と、主への深い愛に満ち溢れるに違いありません。

---

いよいよ26日にアメリカに発ちます。下記にもう一度、予定を記しておきます。どうぞ、主がひとつひとつのコンサートを大きく祝福し、キリストの愛と福音をお伝えするために用いてくださいますように、

主がコンサートへ来てくださった方々を救いに導いてくださいますようにお祈りください。また私の健康も守られますようお祈りください。

皆様も、主の愛に包まれ、健やかな毎日を過ごされますようにとお祈りしております。

主にあって

工藤篤子

---

## カリフォルニアでの予定

4月26日(月) ハンブルク→ロスアンゼルス

5月2日(日) ロサンゼルス、ゴスペル・ベンチャー・インターナショナル教会コンサート  
14:30 開演 連絡先：安藤英世師 310-517-9058 Fax 310-539-9058

5月8日(土) ロサンゼルス、青木家ホームコンサート 14:00  
連絡先：青木千鶴さん 949-646-3942

5月9日(日) ロサンゼルス、ウエストロサンゼルスホーリネス教会チャペルコンサート  
14:30~16:00 連絡先：鈴木幹彦さん info@mmpmoo.com,  
教会 Tel. Fax 310-473-2130

5月13日(木) サンフランシスコ、ひなの会第四回定期集会、会場：渡辺奈々さん宅 10:00-14:00 連絡先：渡  
辺奈々さん 650-726-0660 Fax 650-592-6085

5月14日(金) サンタクララ、JCTV「見えますか愛」& Santa Clara Valley Japanese Christian Church コ  
ンサート 19:00~21:00 代表連絡先：榊原宣行師 650-703-2990 Fax 650-365-7935

5月16日(日) Calvary Baptist Church 賛美礼拝  
9:00 から 11:00 連絡先：Pastor Keith Kettenring 714-630-0733.